

第3章 全体目標

「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す」を本計画のローガンとして掲げ、計画期間中における全体目標として以下の3つの柱を設定します。

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

がんを知り、がんを予防する

- がんに関する知識やがんの予防法について普及啓発し、がんの罹患率（年齢調整罹患率）の減少を図ります。
- 県民ががん検診を受けやすい体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、がんによる死亡率（75歳未満年齢調整死亡率）の減少を図ります。

2 患者本位のがん医療の実現

適切ながん医療を受けられる体制を充実させる

- がん医療の質の向上や、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化又は集約化により、患者本位のがん医療の充実を図ります。

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する

- がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。
- 医療・福祉・介護・産業保健・就労支援分野等、関係機関が連携し、効率的な医療・福祉サービスの提供や、就労支援等を行う仕組みを構築することで、がん患者が、いつでもどこにいても、安心して生活し、尊厳を持って自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現を図ります。

